

選定委員会議事要旨（委員からの主な意見）

グループ等名称	「防災公園」グループ
指定管理者	公益財団法人東京都公園協会
議事概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 公園の新しい使い方を提案していくなど、積極的に都民にはたらきかけていくという内容が良い。例えば、公募型で「こんなことができないか」というアイデアを引き出して、実験的に行っていく仕掛けがあると良い。</li> <li>○ 公園には禁止事項を書いた看板が多いが、「ここではこういうことができますよ」など、利用者の気付きを促すような看板等で、新しい日常を公園で過ごすことを広めて欲しい。</li> <li>○ 公園の使い方として、換気が良いので、距離を空けて公園で会議を開催してはどうか。</li> <li>○ 高台にある公園の場合、水害時に周囲が水没したときにどのくらいの時間でその公園にたどりつけるか。時間的に可能であればその公園に逃げていく余地ができるだろうというのが今の論点になっていると思う。雨の問題では、民間で提供している局地的なメッシュの細かい気象情報などを取り入れて、その地域の状況に応じてすぐに対応できるかどうかが重要。</li> <li>○ 以前は防災フェスタ等を通じて毎年地域とのつながりを確認しながら充実していくことができていたが、今はコロナ禍で開催しにくい状況。行政環境では特に異動等で人とのつながりが切れやすい部分もある。これまで培ってきた、人のつながりをぜひつなげて行って欲しい。</li> </ul>

グループ等名称	「文化財庭園」グループ
指定管理者	公益財団法人東京都公園協会
議事概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「世界に発信する」という部分では、現在コロナ禍で入場者が得られず、インバウンドも期待できない中で、YouTube等の色々な形で、公園の姿、例えば高度な修復技術等をいかに発信していくかというところに切り替えて考えていかなければならない。経営面では、クラウドファンディングも検討してはどうか。また、DX化を考えると、古い文書等を公開するためのデジタルアーカイブを研究段階から始めて欲しい。</li> <li>○ 都立庭園全体を庭園ミュージアムと考えて、全部回ると目利きになれるという仕掛けや、日本庭園とは何かというところから始まり、造園の手法、それを維持する技術、といった物語のある見せ方をして、もっと勉強したいと思ってもらえる工夫してはどうか。哲学や美術などから紐解いていくような、日本人の素晴らしさを伝えてもらえたらと思う。</li> <li>○ 今回、ちょうど中間年ということで計画を見直したところだが、コロナや東京2020大会など、かなり不確定なものが背景にあり、今後どういう方向に進むかわからない中で、臨機応変に対応していかなければならない。今回計画を見直したからといって、この計画に沿って全てを収めるのではなく、柔軟性を期待したい。</li> </ul>

グループ等名称	神代植物公園
指定管理者	公益財団法人東京都公園協会
議 事 概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国土交通省から「新型コロナ危機を契機としたまちづくりの方向性」が出ているが、その論点の一つである「オープンスペースの今後の在り方と政策の方向性」をとらえて、色々な形の方向性を示している点は非常に良い。</li> <li>○ マイクロツーリズムへの対応は、地域的にも非常に良い。ケータリングカーのところでは、せっかくなので「江戸の町のお売りの紹介」のように、蕎麦屋や風鈴売り、寿司を作る小さな屋台といった、普通の人々が実物として見たことがないものを再現するなど、3密を避けて飲食の充実ができるかと素晴らしい。</li> <li>○ ケータリングカーについて、例えば事業者にはハーブを提供しながらおしゃれな空間を作るなど、ロケーションを大事にしたカフェのようなものができていくと良い。</li> <li>○ 今は若い方でも空前のプランツブームになっている。若い世代は、フォトジェニックなものを撮ってSNSで広げたりしているので、広い世代にアピールしていく方法として、企画コンペなどで一緒に参加型で作ってけると良い。</li> </ul>

グループ等名称	潮風公園・台場公園
指定管理者	東京臨海副都心グループ
議 事 概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 公園がコロナ対策の利用制限を解いた途端に人が殺到する可能性があるため、距離をどう保つか、いかにコントロールするかが一番の問題。バーベキューを開くにしても、3密を避けてコロナに対応できるような開催方法を新たに工夫しなければならない。従来の形で人を呼び込むよりも、人との距離を保ちつつ、この空間をどのように癒しの空間とし、精神的に不安感がある人たちをどのように救済していくか、考えていく必要がある。</li> <li>○ パネルやパンフレットを設置するほかに、もう少し「台場＝歴史」を印象付ける発信ができないか。人を集めるイベントでなくても、小さなアイデアを積み上げて、アフターコロナに向けて準備を進めてはどうか。若い人たちは今、盛んに写真を撮って共有している。それにいかに乗って引き寄せていくかで大きく違ってくると思う。</li> <li>○ 潮風公園の南北をつなぐ潮風橋が新たにできたので、積極的にアピールしてほしい。ウォークアブルな環境の中、この境界は東京のコンパクトシティの部分が演出できる場所だと思うので、新しい打ち出しも期待したい。</li> </ul>

グループ等名称	東京都霊園
指定管理者	公益財団法人東京都公園協会
議事概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事務の改善について、いまだに紙文化がずっと残っている部分があると思う。こういう時期なので、転記のような単純な事務処理はRPAという手法で自動化して、人があまり介在しなくてもできるように改善を進めて欲しい。</li> <li>○ 色々な部分で見直しが進んでおり、新しい試みも成果を見せていると感じた。多磨霊園も100周年ということで、歴史的な施設としても、今後も良い管理をして欲しい。期待している。</li> </ul>

(注) RPA : 「Robotic Process Automation (ロボティック・プロセス・オートメーション)」の略

全体まとめ	
議事概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今の時期は、コロナの関連でまだ先が見えていない部分があり、公園管理の方向を探るという意味では非常に難しいタイミングである。条件がここ1年くらいの間で変わってくる可能性もあるので、柔軟な運用をすることが前提にならざるをえない。今後の進め方として、そういった共通認識を持ち、ある程度のバイアスを見て物事を進めていかなければならない。</li> <li>○ 個々の内容については、特にコロナという非常に大きな課題があったこともあり、かなり詰めて考えて、新しい5年間の管理の方向性が示された。</li> <li>○ コロナだからというわけではなく、若い人たちが公園で過ごしたいというニーズは確実にあったわけで、そういう意味では、動員型のイベントではない公園の使い方を考え、じっくりと取り組んでいけるチャンスととらえて取り組んでもらえたらと思う。</li> <li>○ 使い方のルールなど、これまでは禁止事項のイメージだったものを、こういうルールやゾーンを作ればいいのではないかなど、共同でアイデアを出し合っ、どうしたらできるかということを試していく実験的なことができる期間ととらえて、そこで新しい公園の運営の時代が開かれると考えていくと前向きに進めるのではないか。</li> </ul>